



# ああ。これはなんといふ 美しい夢の世界 パントマイムの 旅

2021

10/9 SAT.

2022

1/16 SUN.

■開館時間:9時～17時(入館は30分前まで) ■休館日:水曜日(11月3日は開館、翌4日休館)、年末年始(12月29日～1月3日) ■会場:前橋文学館 2階展示室・3階オープンギャラリー

■観覧料:一般500円 ※朔太郎展示室もご覧になれます。※高校生以下無料 ※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名無料

■観覧無料の日:10月9日(土)(展覧会初日)、10月28日(木)(群馬県民の日)、1月9日(日)(初市まつり)、1月16日(日)(展覧会最終日)



萩原朔太郎  
大全2022



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち  
前橋文学館



前橋文学館  
展覧会案内サイト

デザイン STUDIO VISION 居城達志

# ああ。これはなんといひ 美しい憂鬱だらう パットーニの からくり文字館



むとうまさひこ  
ムットーニ(武藤政彦)

1956年神奈川県横浜市に生まれる。1979年創形美術学校研究科修了。1980年代半ばより、油彩画と並行し立体作品の制作を始める。音と光と人形達の織りなす幻想的な作品世界が高い評価を受け、全国で大規模なイベントを開催。2007-2010年、大阪成蹊大学芸術部客員教授。近年の主な展覧会に「蜘蛛の糸」展(2016年、豊田市美術館、愛知)、「ムットーニ・バラダイス」(2017年、世田谷文学館、東京)、「ムットーニワールド からくりシアターIV」(2018年、八王子市夢美術館、東京)、「ムットーニシアター in HANKYU」(2019年、阪急うめだホール、大阪)「ムットーニからくりシアター展~機械仕掛けのバラダイスへようこそ~」(2020年、藤枝市郷土博物館・文学館、静岡)、「ムットーニのオルゴールシアター」(2020年、六甲オルゴールミュージアム、兵庫)など。



題のない歌

自動からくり人形作家のムットーニこと武藤政彦。人形と機械装置、光と闇、音楽と語りなどを織り交ぜ、繰り広げられる束の間の幻想の物語。数分間に凝縮された独自の世界観を表現するその作品は、唯一無二のものとして多くの人々を魅了してきました。

萩原朔太郎の詩作品を愛するムットーニは、「猫町」「題のない歌」「シグナル・メモリー」「殺人事件」「風船乗りの夢」と、これまで数々の詩や小説を独自の解釈で作品化しています。そして今回、萩原朔太郎の詩作品「恐ろしく憂鬱なる」からインスピレーションを受けた新作「アンダー・ザ・ウッズ」を初公開します。

このほか、オリジナル作品として、「カンターテ・ドミノ」「ギフト・フロム・ダディ」などを一挙紹介。作品制作の裏側を垣間見られる作品設計図、アトリエパーツや朔太郎の直筆原稿もあわせて展示します。

美しく怪しく、漆黒と黄金に彩られたムットーニのイマジネーションワールドをどうぞお楽しみください。



## 関連イベント

**作家口上** 展示作品について、作家自らが口上でご案内します。

- 日時 ①10月9日(土) ②12月4日(土) ③1月16日(日)  
 ①、③は 11時30分～、13時30分～、15時30分～ ②は11時30分～のみ  
 会場 2階企画展示室、3階オープンギャラリー  
 対象 一般、先着各10名



アクセス(交通案内)  
 車: JR前橋駅から徒歩約20分、上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩5分  
 自動車: 関越自動車道 前橋ICから車で約15分  
 沿線バス: 駅前バス停「KMB元気まえはし」(市営P城東)のご利用に際しては、駐車券に割引処理をいたします。

萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち  
**前橋文学館**

対談「ああ。これはなんという美しい憂鬱だらう」  
 作品の制作秘話や、鑑賞のポイントなどを映像を交えてお話しいただきます。  
 日時 12月4日(土) 14時～  
 会場 3階ホール  
 出演 武藤政彦・笠原拓郎(俳優・「風船乗りの夢」朗読)  
 対象 一般、先着50名  
 参加費無料(展示観覧券が必要です)  
 申込(先着順) 9月18日(土) 9時より前橋文学館へ (Tel: 027-235-8011)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、開催や内容の変更をさせていただく場合があります。  
 ご来館の際は、事前にホームページをご覧いただき、お電話でお問い合わせください。

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10  
 TEL.027-235-8011 FAX.027-235-8512  
<https://www.maebashibungakukan.jp>